



家串ドリームチーム

写真左から

- 松原^{りゅうや}琉也(5年)
- 伊勢^{このは}小葉(5年)
- 末^{りきや}弘力也(6年)
- 織^{たくみ}田拓海(5年)
- 兵^{たいが}頭太嘉(5年)
- 高^り魚璃空(6年)

愛は南から—— 避難場所までの経路を網羅

由良半島完全防災マップで家串小学校「家串ドリームチーム」が文部科学大臣賞を受賞の快挙！

子どもたちの防災意識の向上や地域コミュニティの強化を目的として実施されている第15回「ぼうさい探検隊マップコンクール」(主催…一般社団法人日本損害保険協会)で、家串小学校の「家串ドリームチーム」が最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。

マップはその名も「由良半島完全防災マップ」。チームのメンバー6人が、夏休みに由良半島の担当地区を歩いて探検し、

避難場所に至る経路の調査結果をまとめました。

昨年までの調査で、自宅から避難場所までの最短コースを調べていた児童は、今回の探検調査で、避難経路の途中、崩れやすくなっている箇所があることに気がつきました。「いざ避難しなくてはいけないとなったとき、決めていた避難経路が通れなくなっていると、慌ててしまい、自分の命を守ることができないかもしれない」

そこでチームは、避難場所に至る複数の経路を考え、自分の足で実際に確かめて地図に落とし込んでいきました。さらにそれを持って、各地区の消防団員に避難経路を伝え、助言をもらいながらマップを磨き上げていきました。そして、自らが調べたルートも含め、避難場所までの複数の経路を網羅したマップ

が完成しました。



探検調査を行う児童。避難経路に危険な箇所があることに気づきました



調査した避難路を消防団員に伝える児童

が出来上がりました。ドリームチームの松原^{りゅうや}琉也くん(5年)は「僕たちのマップが文部科学大臣賞を受賞できて、とてもうれしい。僕たちは大きな地震を体験したことがないので、過去に起こった大きな地震を調べて、そのことを南海トラフ地震のときに安全に避難できるように防災マップを活用したい」と話しました。

家串小学校では、今後、マップを持って各地区で発表しながら、啓発活動を行う予定です。